

ジョリパット不燃  
JQ-200シリーズ  
マイルドプ\*ラ\*ス\*タ\*ー\*ラ\*ン\*ダ\*ム仕上げ  
施工の手引き

平成19年5月25日【初版】

アイカ工業株式会社  
第二R&Dセンター  
建設樹脂開発グループ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジヨリハットシーラー JS-500	水性タイプアクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	約51.4㎡/缶
主 材	ジヨリハット不燃 JQ-200シリーズ 標準色 JQ-200、JQ-□□□□ (□…数字) 特注色 JQ-200△○○○ (△…英字、○…数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg缶	約 8㎡/缶

<主な施工道具>

- ・ステンレスゴテ（剣先ゴテ）

<下地調整>

標準下地は、石膏ボード（プラスターボード）又はモルタルとする。

## <マイルドプラスターランダム仕上げ施工方法>

### 1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	18ℓ
塗 布 量	0.07kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3時間以上48時間以内

### 2. 主材 下塗り

- ・ ジョリパット不燃を無希釈で0.6kg/m<sup>2</sup>となるようステンレスゴテで擦るように塗布する。

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

◎乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

### 3. 主材 配り塗り

- ・ ジョリパット不燃を無希釈で約1.7kg/m<sup>2</sup>となるようステンレスゴテで塗布する。

追かけ塗り（5分以内）

### 4. パターン付け

- ・ 配り塗りしたジョリパット不燃が乾燥しないうちに、ステンゴテのエッジ部分に軽く力を入れ、コテを少し壁面から浮かすような感覚でジョリパット不燃を扇状に塗りのばしてパターン付けを行う。（図-1）
- ・ 扇状の模様が規則正しくそろわないよう気を付ける。（図-2、3）

24時間以上放置して乾燥させる。

### <施工のポイント>

- ・ 壁面に対しコテの片側を少し浮かすようにして、コテを滑らせパターンを付けます。

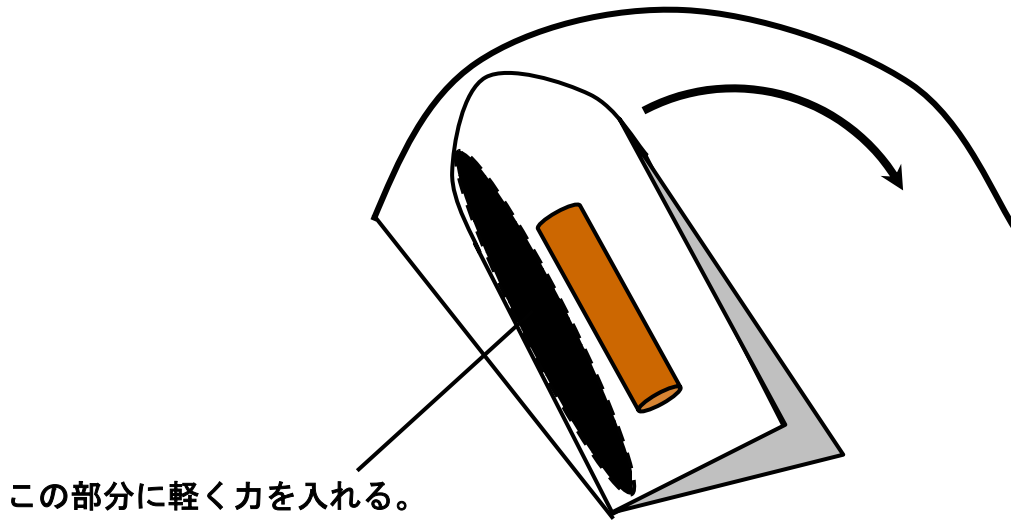


図-1

- ・ 扇状の模様が規則正しくならないよう (図-3)、パターン付け始めのコテの角度を変える。

下図のような順番でパターンを付けます

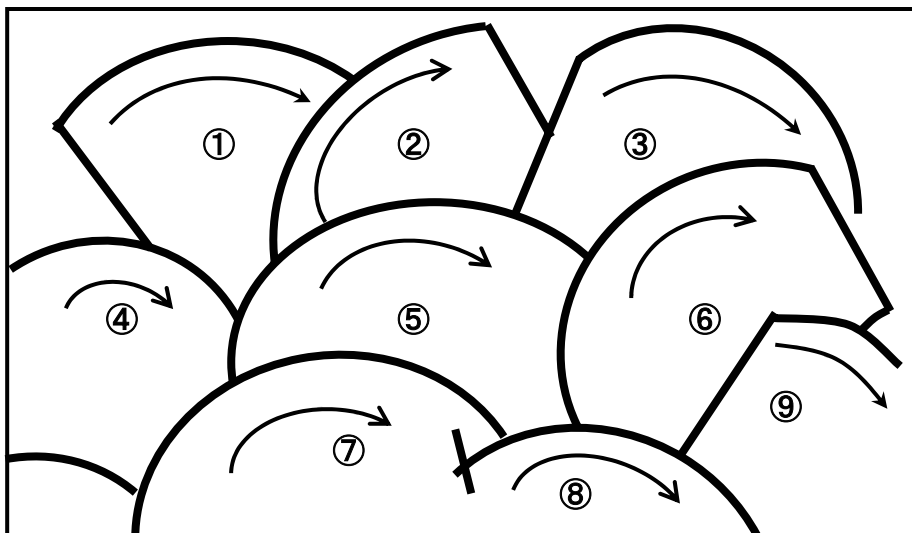


図-2

半径10cm ぐらいの扇を描くようにランダムにパターンを付けます。

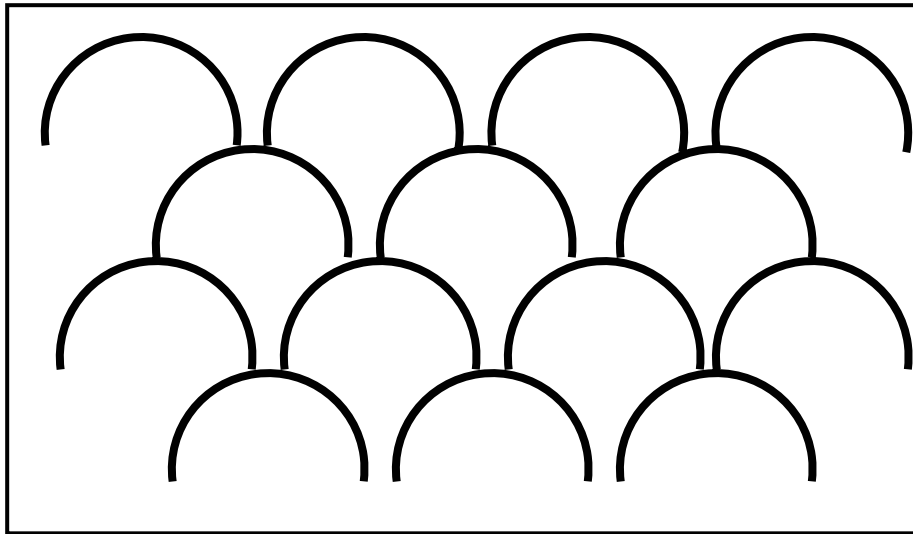
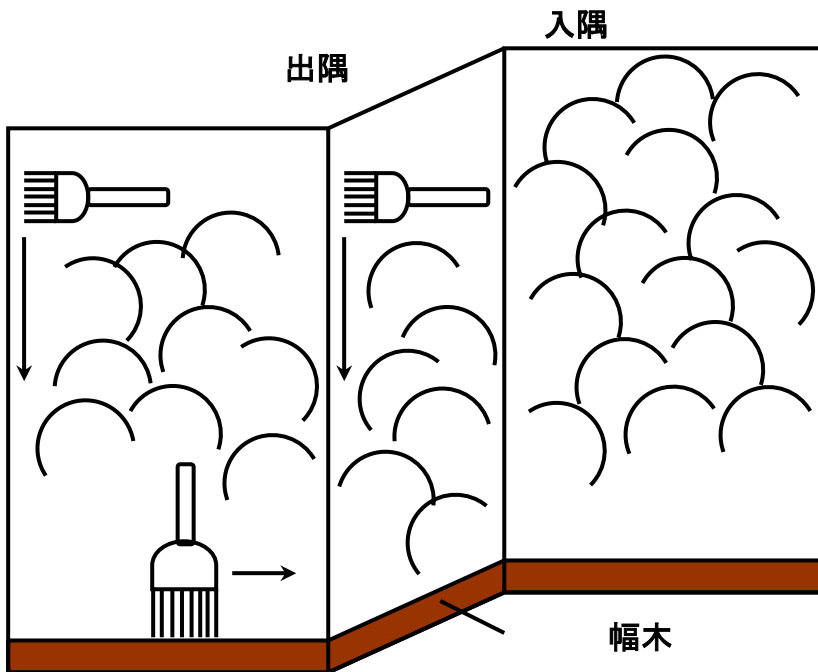


図-3

### ○入り隅、出隅の処理方法

- ・ 入隅や出隅、幅木のちりは、ジョリパット不燃が乾燥する前に水を浸した刷毛（平刷毛など）で押さえる。（図-4）



刷毛で押さえる工法

図-4

### ＜施工の注意事項＞

- ・ 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合、原則として施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行って下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ コテの大きさや形状によってパターンは多少異なります。
- ・ 何度もパターンの手直しをすると、ジョリパット不燃が乾燥して皮張りをおこし、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行って下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。(特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。

以 上